

編集・発行

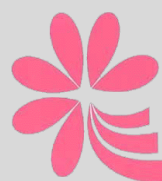
花見川区支え合いのまち
推進協議会事務局
花見川区高齢障害支援課
社会福祉協議会花見川区事務所

電話 043-275-6425

令和 7 年 3 月〇〇日

あなたが主役 第5期花見川区地域福祉計画

花見川区支え合いのまち 推進協議会だより 第26号



第5期「花見川区支え合いのまち推進計画」は令和4年度から令和8年度の5年間としており、令和5年度には中間見直しが実施され、令和7年度は計画の4年目を迎えます。

令和6年は、大きな自然災害に見舞われた1年でした。元日から能登半島地震が発生し、9月には山形県、新潟県、石川県3県において、記録的な大雨となり、河川の増水や氾濫、土砂災害などによる甚大な被害が発生しました。地域での防災の意識が高まり、何気ない声掛けや見守り活動の重要性を再認識し、安全安心なまちづくりを推進しております。

また、心身の健康保持を目的とした外出の機会をつくり、多世代の交流の場や、健康教室などをきっかけに、地域ぐるみで支え合う取り組みを行っています。

第5期「花見川区支え合いのまち推進計画」に基づく、様々な地域活動の中から、地域での取り組みの内容を一部ご紹介します。

地域の活動紹介①

ふれあいサロン検見川

検見川地区部会

12月20日（金）13:30～15:30

検見川公民館 2階講堂

70歳以上の方を対象に第3金曜日に、今年度は年7回実施。地域の高齢者の交流の場として、毎回異なった内容のテーマで開催されている。年間を通して、手足を動かす体操であったり、ベジチェック測定、血管年齢測定、夏には、保健師より熱中症予防の話、握力測定、歩行測定、工作、人形劇、ビンゴ等を開催。

地域の活動紹介② ふれあい喫茶

花見川第2地区部会

12月5日（木）13:00～15:00

花見川いきいきセンター（花見川団地の中心部に位置）

コロナ禍、一時中断していたが、令和5年より再開した活動。

高齢者だけでなく、世代を問わず地域の若い世代を含めた、ふれあいの場、支え合いの場、コミュニティ形成の場となっている。ふれあい喫茶で知り合いになり、次回のまた出会える場として、毎回多くの方が参加している。現在月1回の開催であるが、好評のため、月2回の開催要望がでている。

毎月第2木曜日（8月・3月休み）に開催

参加費：お替りは2杯まで、1人50円の負担

地域の活動紹介③ たんぽぽ広場秋の収穫祭

あんしんケアセンター幕張

11月19日（火）

幕張5丁目のたんぽぽ広場での活動。

毎月第3火曜日に地域の交流の場として会話を楽しみながら、花や野菜を植える活動を行っている。その成果として迎えた実りの秋に、「収穫祭」として銘打って、かぶやラディッシュなどの収穫を体験した。参加者は地域住民や近隣の園児たち。収穫とともに、バルーンアートや紙芝居などの催しも行われた。

地域の活動紹介④

健康づくり教室～エンジョイさつきが丘～

あんしんケアセンターさつきが丘

10月30日（水）10:00～11:30

さつきが丘公民館 2階講堂

あんしんケアセンターさつきが丘が企画した健康教室の第一弾。65歳以上の地域住民を対象として、介護予防の意識向上や、地域住民の顔の見える関係づくりを目的としている。

初回は18名が参加し、話題のボッチャを体験。大変好評を得た。今後は4か月に1回、年間3回を開催頻度として定期的に実施していく予定である。

地域の活動紹介⑤

ふみこさんのお家

地域住民

あんしんケアセンター幕張、社協花見川区事務所

11月27日（水）10:00～12:00

ふみこさんのお家

幕張町1丁目963 高橋邸

高橋ふみこさんが生活してきた家と歴史を活かし、地域の中で人と人とがつながれる居場所を作る。花見川区地域活性化事業として地域住民が主体となって行っている事業である。

住民の孤立、孤独の減少を図り、介護予防の取り組み、望む暮らしの実現、地域福祉活動への参加促進を図ることを目的とする。地域住民が楽しく集まる場所の提供により、地域共生社会の実現を目指し、気軽に集まって、自由に過ごせる場所となっている。初めましての方も、おしゃべりをしたり、庭いじりをしたり、手作業をしたり、体操をしたり、何もしたくない日も好きな時間を過ごすことができる。

日時：毎月第2・4水曜日で、出入り自由、事前連絡不要。

対象者：年齢問わずどなたでも参加可能。

地域の活動紹介⑥

「避難所開設・運営訓練」

上の台小学校避難所運営委員会・花見川区役所

11月10日（日）10:00～12:00

上の台小学校体育館

避難所の開設・運営について、実演を交えた訓練兼研修会を実施。

一般参加者の方は、マンホールトイレの設置見学や、EV車による給電及び蓄電池による充電デモ、応急手当講習、新聞紙でスリッパづくり体験、などのブースが充実。自由に見学や参加ができ、災害に対する備えを学んだ。

花見川保健福祉センター健康課 取り組み紹介⑦ フレイル予防口腔ケアの重要性について

健康課からは、フレイル予防の中でも口腔機能に着目。

「口のフレイルは全身のフレイルのはじまり」と題して、オーラルフレイル（口のフレイル）の症状をわかりやすく紹介。オーラルフレイルになるとそうでない人に比べて、全身の筋肉や運動機能の低下のリスクが高まる。口のフレイル予防教室（歯っぴー健口教室）の参加を促す内容を掲載。